

# 特別委員会委員長報告

特定の課題を審査するために設置された特別委員会は、それぞれのテーマに基づき、1年間施策の検討を行ってきました。その内容を抜粋して掲載します。

## 観光振興特別委員会

委員長 大石 勇

世界規模のスポーツイベントが3年にわたり開催されます。この機会に市の魅力を世界にアピールするため、観光振興について3つのテーマを協議し、次のとおり提言しました。

### 1 国内外から多くの観戦客観光客を掛川市に呼び込むための仕掛け

おもてなし委員会の活動がさらに活発に展開できるよう支援すること

### 2 観戦客観光客に快適に過ごしていただくための環境整備

多言語観光案内看板を設置すること

### 3 5年先10年先を見据えた観光振興のあり方について

自然や歴史文化等の地域資源を今以上に充実させ消費者ニーズに合った体験型や滞在型の商品を開発すること



市内現地視察（五明茶業組合）

## 防災意識向上特別委員会

委員長 山本行男

2つのテーマについて、1年間協議し次のとおりまとめました。

### 1 『掛川市防災意識の高いまちづくりを推進する条例』

平成29年度に皆様から要望が一番多かった「防災に関すること」を議会報告会のテーマとして取り上げました。そこで、「近年多発する豪雨災害で避難情報が出ているにも関わらず、避難しようとしめない住民が多くいる。避難しない方々の意識の中に、今までこの地域で大きな災害が一度もないので今回も大丈夫との思いがあり、結果的に大きな人災に結び付いている。」などの指摘をいただきました。

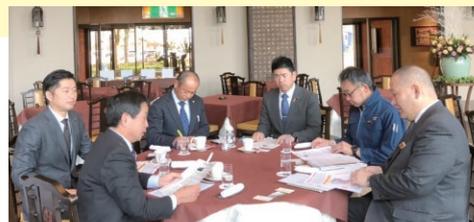
委員会ではこれらの指摘を踏まえ、防災を意識する機会をみんなで増やし習慣化していくことを目的とした条例が必要と考え策定しました。条例では第1条から第8条までを定め市民・事業者・市の責務などを明確にしています。災害を「我がこと」とする意識改革や人が集まる場での避難方法の周知、買い物中に店内で防災に関するアナウンスを流すなどの環境をつくり「日本一防災意識の高いまち」を目指しています。

議員発議  
で可決

### 2 『市議会BCP※の策定』について

非常時も二元代表制の一翼を担う住民の代表機関、議事機関としてまとめました。

- a 災害時における議員の役割と行動指針
- b 迅速な議会機能の回復を図り、市民ニーズを反映した復旧・復興の取り組みを明記



事業所との意見交換

※災害などで業務が中断しないようにするため、平時から戦略的に準備する計画